

□議員名：中岡 英二

1 市場の今後の取り組みについて

論点	産地への信頼回復をどの様に進めていくのか。
回答	産地・卸売業者・売買参加者の3者は運命共同体であり、ここに開設者である市も含めて、それぞれの立場で努力する事が重要である。 これからは、市場運営協議会で取り組みを協議していく。

論点	買受人への信頼回復をどの様に進めていくのか。 又、平等性は保たれているか。
回答	4月から市場長を配置し、セリの監視・販売伝票のチェックを行っている。これにより、公平性の確保・平等性は保たれていると思う。

論点	売買代金の支払いで、支払い猶予の特約があるが、これにより買受人に対して不平等が生じているのではないか。
回答	特約については、卸売業者と売買参加者の間で締結されるもので、内容・条件は申し上げられないが、締結している業者は2者ある。

論点	市場関連会社は、いつ閉鎖するのか。
回答	青果販売の閉鎖については、取締役会の中で適切な時期を見極めて廃止していくと思っている。

2 小野田南部地区の交通施策について

論点	本山校区の交通施策をどう進めていくのか。
回答	南部に2カ所あるバス拠点をつ統合して、効率的な運行に繋げていく。 公共交通の利用促進を図り・維持していく。

3 高齢者福祉としての、高齢者バス優待乗車証について

論点	本市の高齢者福祉として、バス優待乗車証の導入はあるのか。
回答	市内全域の公共交通の在り方について、整理研究していく。 限られた財源の中で、高齢福祉サービスの優先順位を考慮しながら制度を研究していく。

4 いきいき百歳体操の取り組みについて

論点	いきいき百歳体操の実施状況は、どうなっているか。 いきいき百歳体操実施場所としての公民館の使用は、何故有料なのか。
回答	実施場所は 68 カ所で行われている。 この運動をもっと広げる為にも実施要項を見直し、減免でいくのか補助でいくのか、その手法に早急に着手していく。